

一般社団法人日本エンドオブライフケア学会
Japan Society for End-of-Life Care

記念講演会 プログラム

- 10:00～10:10 **オープニング セレモニー**
学会設立の挨拶
- 10:10～10:45 **講演 1**
「エンドオブライフケアの国際的動向とわが国の課題ー在宅ケアを中心にー」
座長 長江弘子 東京女子医科大学教授
演者 島内 節 人間環境大学副学長 大学院看護学研究科長 教授
- 10:50～11:20 **講演 2**
「日本人の死生観とエンドオブライフケア」
座長 足立智孝 亀田医療大学教授
演者 浅見 洋 石川県立看護大学教授 石川県西田幾多郎記念哲学館館長
- 11:20～11:35 **【休憩】**
- 11:35～13:05 **ランチ交流会**
エンドオブライフケアについておおいに語ろう
進行係:内田 陽子 群馬大学大学院保健学研究科教授
葉袋 淳子 岐阜医療科学大学保健科学部看護学科長 教授
- 13:20～14:20 **設立総会**
- 14:20～14:35 **【休憩】**
- 14:35～15:40 **対談**
「わが国のエンドオブライフケアをどうすすめるか」
座長 秋山正子 株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション代表取締役 所長
NPO法人マギーズ東京共同代表
演者 平原 佐斗司 梶原診療所在宅総合ケアセンター長
オレンジほっとクリニック所長
演者 長江 弘子 東京女子医科大学教授
- 15:40～16:00 **クロージング セレモニー**
人々が支え、支えられ生きている日常性
ピアノ:高橋 在也 千葉大学講師 NPOJAIC
バイオリン:渡邊 賢治 東京女子医科大学看護学部助教
学会の今後に向けて

講演 1

エンドオブライフケアの国際的動向とわが国の課題ー在宅ケアを中心に

座長 長江弘子 東京女子医科大学 教授

演者 島内 節 人間環境大学 教授

【演者略歴】島内 節（しまのうち せつ）

専門は在宅ケア看護、医学博士、横浜市立市民病院看護師、国立公衆衛生院看護技術室長、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科長、広島文化学園大学大学院看護学研究科長等を経て平成27年度より現職。日本看護系大学協議会代表理事、日本私立系看護系大学協会理事、日本在宅ケア学会初代理事長、The 3rd International Conference on Community Health Nursing Research 学術集会長、日本看護科学学会副理事長・学術集会長、Nursing & Health Sciences 編集委員、日本地域看護学会副理事長・学術集会長、日本マネジメント学会副理事長、日本クリニカルパス学会理事、日本エンドオブライフケア学会初代理事長、厚生労働省保助看検討委員、文部科学省看護学教育検討委員、「7か国事例調査により在宅終末期ケアのプログラム開発」特許5108998、在宅看護の報酬について厚生労働省への提案と一部採択

講演 2

日本人の死生観とエンドオブライフケア

座長 足立智孝 亀田医療大学 教授

演者 浅見 洋 石川県立看護大学 教授

【演者略歴】浅見 洋（あさみ ひろし）

1951年石川県生まれ。1977年金沢大学文学研究科哲学専攻修了、博士（文学、筑波大学）。専攻は宗教哲学、死生学。石川県立看護大学教授・学長補佐、石川県西田幾多郎記念館長兼任。日本宗教学会・西田哲学会・日本エンドオブライフケア学会・北陸宗教文化学会理事、医学哲学倫理学会・比較思想学会評議員。東京大学教育学研究科連携教授・ライプチヒ大学東アジア研究所客員教授等歴任。単著に『西田幾多郎とキリスト教の対話』『二人称の死』『生命と宗教に深まりゆく思索』『思想のレクイエム』、共訳書にK・ラマー著『悲しみに寄り添う』など。2002-15年：公開研究会「死生観とケア」主催、2004-16年：科研費（基盤B）で〈ルーラルにおける住民の死生観とケアニーズ〉に関する研究を実施。

対 談

わが国のエンドオブライフケアをどうすすめるか

座長 秋山 正子 株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション代表取締役 所長
NPO法人マギーズ東京共同代表

演者 平原 佐斗司 梶原診療所在宅総合ケアセンター長
オレンジほっとクリニック所長

演者 長江 弘子 東京女子医科大学教授

【演者略歴】平原佐斗司（ひらはら さとし）

1987年島根医科大学卒業。東京ふれあい医療生活協同組合副理事長、梶原診療所 在宅総合ケアセンター長/病棟医長、同オレンジほっとクリニック所長（東京都地域連携型認知症疾患医療センター）。

総合内科専門医、在宅医療専門医、日本緩和医療学会暫定指導医、プライマリケア連合学会認定医・指導医

東京医科歯科大学臨床教授、聖路加看護大学臨床教授、東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員

日本在宅医学会副代表理事、日本エンドオブライフケア学会理事

著書に「チャレンジ！非がん疾患の緩和ケア」、「医療と看護の質を向上する認知症ステージアプローチ入門」心不全の緩和ケア、呼吸器疾患の緩和ケア（2016年度発刊）

【演者略歴】長江 弘子（ながえ ひろこ）

1983年聖路加看護大学卒業後、聖路加国際病院公衆衛生看護部勤務、1996年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、白十字訪問看護ステーション勤務、1998年聖路加看護大学地域看護学講師、准教授、2007年聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了（看護学博士）、2008年岡山大学大学院保健学研究科コミュニティヘルス看護学在宅看護学教授、2011年千葉大学大学院看護学研究科エンドオブライフケア看護学特任教授、2016年東京女子医科大学看護学部老年看護学教授（現職）

日本エンドオブライフケア学会副理事長、日本在宅ケア学会理事、看護系社会保険連合理事、生活と医療を統合する継続看護マネジメント、看護実践に生かすエンド・オブ・ライフケア（2014年発刊）、2015年度—2019年度文部科学研究費補助金基盤研究（A）「市民と専門職で協働する日本型対話促進ACP介入モデルの構築とエビデンスの確立」に取り組んでいる